

南日本新聞

2014(平成26)年

5月28日

水曜日

旧暦4月30日

先負

日	月	火	水	木	金	土
27	28	29	30	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

発行所：(郵便番号890-8603)
鹿児島市与次郎1丁目9番33号
南日本新聞社

電話 099-813局

読者センター

NIE支援 5004

ひろば・読者応答 5110

報道部 5124

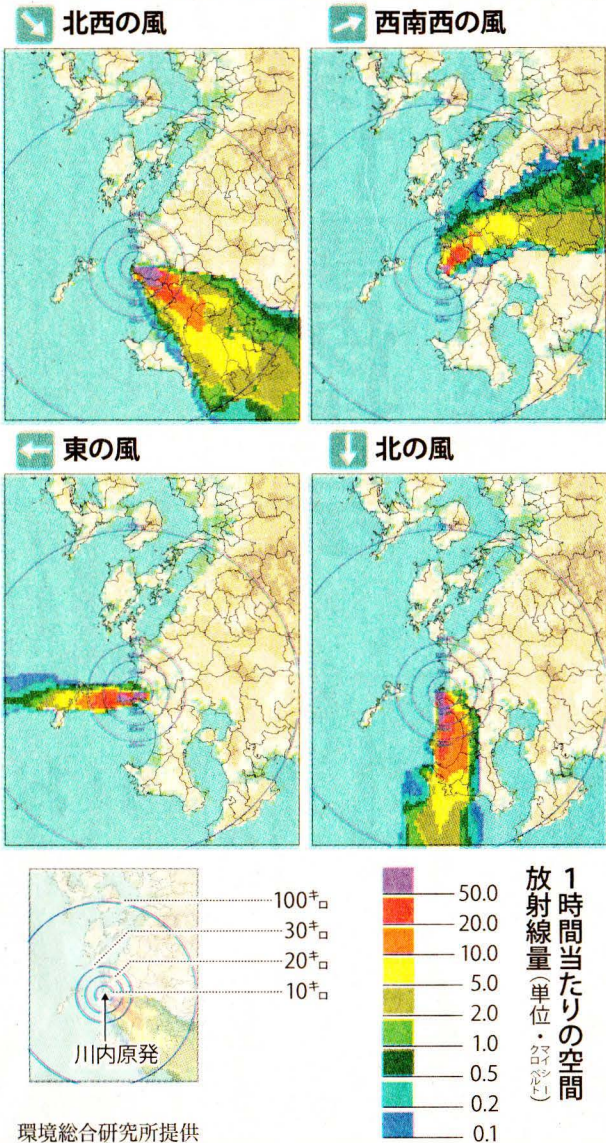
5178

文化部 5136

運 動 部 5151
写 真 部 5155
論 説 部 5101
販 売 部 5040
広 告 部 5063
事 業 部 5052
経 営 局 5030
総 合 受 付 5001

避難先 風下の恐れ

川内原発の風向ごとの放射性物質拡散試算図
(風速毎秒2m)



事故時9市町計画

九州電力川内原発1、2号機(薩摩川内市久見崎町)の重大事故を想定し、原発から30km圏の9市町が策定した住民避難計画は、放射性物質の広がり方や方向を左右する風を考慮しておらず、避難先は1カ所しか指定していない。県や当該市町は「事故の状況を踏まえて対応する」としているが、住民の不安を払拭するには程遠い。

(3、25面に関連記事)

川内原発を考える

会に割り当てられた避難所は1カ所なのが現状だ。

民間シンクタンク

「環境総合研究所」(東京、鷹取敦社長)は、川内原発で東京電力福島第1原発事故と同程度の汚染があった場合の風向きに応じた拡散範囲を予測した。

原子力規制委員会が2012年に公表した北西の風②規制委の予測で最遠方まで拡散するとした北の風③避難が困難な飯島への東の風④薩摩川内市街地を経て県外へ向かう西南

西の風を比較した。風速は一般的な市街地の平均毎秒2mに設定。各ケースで放射線量を色分けして地図に示した。1週間以内に一時移転すべき目安となる空間放射線量毎時20μSvの範囲は、北西の風なら鹿児島市、北の風なら南さつま市沖まで届くと予測。30km圏外も避難準備を迫られる結果になった。

両親が薩摩川内市出身の研究所顧問、池田こみちさん(64)は「高齢の親戚もいるが、拡散イメージが頭にあれば避難の判断に役立つのでは」と話す。

九州大学応用力学研究所の竹村俊彦准教授(大気環境学)は「気象学的には、避難の方向は事故直後から2、3日後までの風向・風速の予測で決めなければならない」と指摘。

「被ばく量低減と事故時の自治体の判断を考慮すると、全く異なる2方向以上の避難先を準備した方がいいのは明らか」と提言する。

関西電力大飯原発3、4号機の再稼働差し止めを命じた21日の福井地裁判決は、危険が及ぶ範囲を半径250kmとした。福島事故直後、アメリカや韓国、オーストラリアなどは半径80km圏内の在日国民に避難を勧告している。

(雪松博明)

薩摩川内市の新屋義文危機管理監は27日、九州電力川内原発1、2号機の再稼働に関する住民説明会を、原子力規制委員会の新規制基準適合性審査終了から1カ月後をめどに、川内文化ホールで開く方針を明らかにした。

説明会は県が再稼働の判断前に関係自治体と共催する。九電が目指す今夏の再稼働は難しい見通したが、審査終了後に開く説明会の時期が明らかになったのは初めて。

同日、市内のホテルであった市48地区コミ

薩摩川内市再稼働説明

審査終了1カ月後

説明会は県が再稼働の判断前に関係自治体と共催する。九電が目指す今夏の再稼働は難しい見通したが、審査終了後に開く説明会の時期が明らかになったのは初めて。

同日、市内のホテルであった市48地区コミ

【川内原発から半径30km圏内9市町の避難先市町】

市町名	避難先市町(30km圏外の当該市町内)
薩摩川内市	鹿児島市、垂水市、南さつま市、霧島市、始良市、曾於市、湧水町
いちき串木野市	鹿児島市、枕崎市、指宿市、南九州市
阿久根市	長島町、始良市、伊佐市、湧水町、熊本県芦北町、熊本県津奈木町
鹿児島市	(鹿児島市内)
出水市	伊佐市、霧島市、熊本県水俣市、(出水市内)
日置市	南さつま市、(日置市内)
始良市	(始良市内)
さつま町	鹿児島市、霧島市、(さつま町内)
長島町	(長島町内)

3日後までの風向・風速の予測で決めなければならない」と指摘。

「被ばく量低減と事故時の自治体の判断を考慮すると、全く異なる2方向以上の避難先を準備した方がいいのは明らか」と提言する。

関西電力大飯原発3、4号機の再稼働差し止めを命じた21日の福井地裁判決は、危険が及ぶ範囲を半径250kmとした。福島事故直後、アメリカや韓国、オーストラリアなどは半径80km圏内の在日国民に避難を勧告している。

(雪松博明)